

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	高島産業株式会社					
代表者名	氏名	小口 武男	役職名	代表取締役社長		
主たる事務所の所在地	長野県茅野市金沢5695-6					
主たる事業の分類	大分類	E 製造業				
	中分類	2 8 電子部品・デバイス・電子回路製造業				
主たる事業の概要	精密挽物部品製造 精密研磨 ICウェハ研磨 電子機器組立 機器設計製作					
制度に該当する要件	☐	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	☐	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	☐	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	☒	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	k1	1, 196. 73	1, 160. 83			
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	2, 262. 42	2, 194. 55			
その他ガス排出量合計	t-CO ₂					
自動車の台数	台	12				
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂					

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	2021	年度	計画期間	2022	年度～	2022	年度
報告対象年度		年度					

3 計画書（報告書）の公表方法等

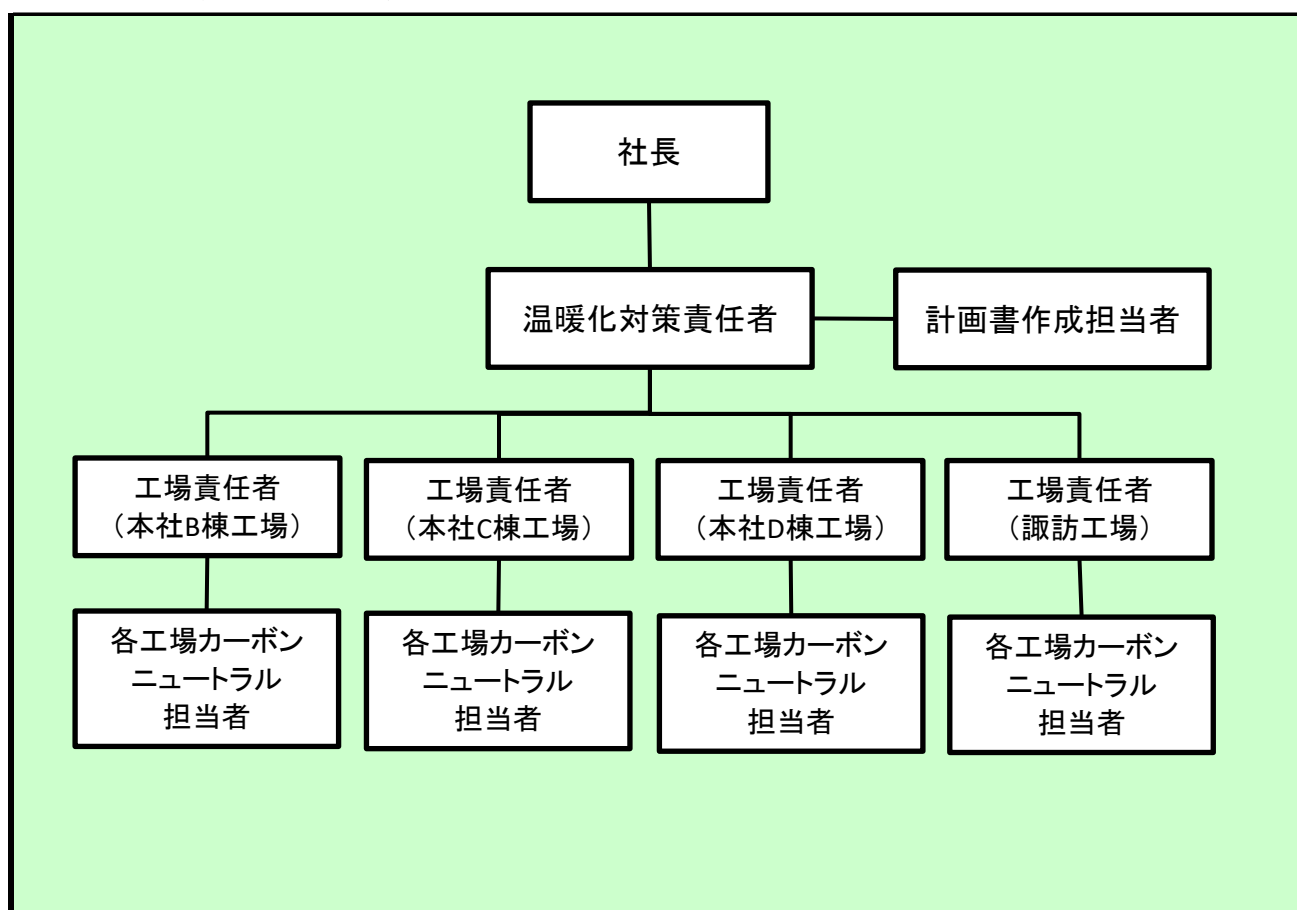
☒	ホームページ	https://www.takashima.co.jp/
☐	印刷物の閲覧	
☐	その他	

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

二酸化炭素排出量を2030年までに50%削減、2050年に0% (再エネ率100%) を目標に活動しています。主な削減活動として以下のものがあります。

- ・運用方法の改善による省エネ (高効率化)
- ・設備更新時省エネ設備導入
- ・再生可能エネルギーの活用 (太陽光発電設備の設置)
- ・グリーン電力の導入

5 の 1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



5 の 2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

- ・経営会議 (月一回)
- ・カーボンニュートラル担当者会議 (月一回)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	2,262.42	t-CO ₂	加工高	256	単位	千万円
2021年度	調整後排出量	2,262.42	t-CO ₂	基準原単位	8.85	t-CO ₂ /	千万円
目標年度	目標排出量	2,194.55	t-CO ₂	目標原単位	8.58	t-CO ₂ /	千万円
2022年度	目標削減率	3.00	%	目標削減率	3.00	%	
目標設定に関する説明	2030年度までに50%減を目標としており、それを2022年度に換算した値です。ただ、受注量増などにより排出量が増加する可能性もある為、原単位(加工高比)での目標も設定しています。						
第一年度	排出量		t-CO ₂	加工高		単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO ₂	加工高		単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
—年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂	加工高		単位	
	削減率		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /	
—年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式 1 号
(総括票)

6の2エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量		t-CO ₂			単位	
2021 年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2022 年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2022 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
— 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
— 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式 1 号
(総括票)

6 の 3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基 準 年 度	基準排出量		t-CO ₂			単位	
2021 年度				基準原単位		t-CO ₂ /	
目 標 年 度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2022 年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2022 年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
一 年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
一 年度	削減率		%	原単位削減率		%	
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I ～ II	I-1	燃料使用量等の定期的な把握						
	I-2	エコドライブの励行						
III	III-1	次世代自動車の導入計画						
IV	IV-1	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	区分 番号	対策内容	計画		状況	
				実施予定 年度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施 年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	310100	温室効果ガス削減担当者の選任	2022	0		
2	エネ起	330201	冷暖房期間の設定・変更（短縮）	2022	39.0		
3	エネ起	330208	空気調和設備の効率管理 空気調和設備の点検・清掃	2022	19.2		
4	エネ起	380752	LED蛍光灯への更新	2022	38.8		
5	エネ起	360703	エアコンプレッサ吐出圧の低減	2022	12.7		
6	エネ起	360705	エア配管の漏れ点検 空気漏れ箇所修理	2022	6.2		
7							
8							
9							
10							

9 自然エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
太陽光発電設備	kW	30	154			

様式 1 号
(総括票)

1 0 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績

(所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満								
1,500k1未満	2	2,262.42						
合計	2	2,262.42						

1 1 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績

(t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂				
CH ₄				
N ₂ O				
HFC				
PFC				
SF ₆				
NF ₃				
合計	0	0	0	0

1 2 次世代車使用台数等の導入状況

(台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車	0			
電気自動車	0			
燃料電池自動車	0			
クリーンディーゼル自動車	0			
その他 (ハイブリッド等)	3			
合計	3	0	0	0
自動車総数	12			
次世代車導入割合	25			

様式1号
(総括票)

1.3 交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関の利用促進	信州スマートムーブ通勤ウィークに登録し、ノーマイカー通勤、エコドライブ通勤の啓発をしています。
自転車の利用促進	信州スマートムーブ通勤ウィークに登録し、ノーマイカー通勤、エコドライブ通勤の啓発をしています。
来客者の交通対策	対象外のため実施なし
物流の合理化	無し

1.4 環境配慮活動状況

環境配慮活動		活動内容の詳細	
		実施内容	実施年度
☒	SDGs	長野県SDGs登録制度へ登録している	2021
☒	環境マネジメントシステム	環境マネジメントシステムを導入している	2002
	名称	ISO14001	
☐	TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）支持を表明している	
☐	グリーンボンド	グリーンボンドを発行している	
☐	ESG投資	ESG対話プラットフォームに登録している	
☐	SBT	SBT を策定済、またはコミットしている	
☒	RE100	☐ RE100にコミットしている	2022
		☒ 再エネ100宣言RE Action へ参加している	
☐	その他		

1.5 自由記載欄

自社製品として、小型のマシニングセンタ「マルチプロ」を開発・販売しております。「マルチプロ」は通常的大型マシニングセンタと比較し消費電力が1/6となる為、二酸化炭素排出量削減、省コストに寄与できます。(詳細は下記のHP参照)
<https://www.takashima.co.jp/product/>